

## ご挨拶

代表：横須賀邦子

会の設立から1年半がたちました。この間に様々な方々の協力を得て、山のトイレ問題の解決に向けた活動をすすめてまいりました。この場を借りまして、みなさまに改めて御礼申し上げます。山の状況はそれほど大きく変わってはいませんが、トイレ問題を意識する登山者や関係者は確実に増えていると実感しております。来年の2月には3回目のフォーラムを開催し、より具体的な議論を行おうと考え、これまでの活動の報告とあわせてみなさまにお知らせいたします。具体的な対策を実現するためには、行政・山岳会・登山者などの関係者のより密接な連携が必要と思います。今後とも当会の活動に対して、ご指導・ご協力をお願いいたします。

2001年12月14日

## 活動報告

### 1. 山のトイレマップの作成・配布

これまでの調査活動・フォーラムで、一般登山者への啓蒙活動の必要性が再三にわたり指摘されてきました。そこで山のトイレ問題の現状や課題とともに、山中でのトイレの有無や登山口付近のどこで用がたせるかを地図化したリーフレット「山のトイレマップ」(Vol.1大雪・十勝編、Vol.2北・東大雪編)を作成しました。また、大雪山以外の地域については、山域ごとに表にまとめた「登山口トイレ情報」を作成しました。全道各地の情報は「北海道の山メーリングリスト」のみなさまにご協力いただきました。各地の山開き、ビジターセンター、登山用品店、各種イベントなどで配布しました。まだ若干余部があります、希望される方はお問い合わせ下さい。

### 2. トムラウシ南沼調査登山

7月28日～30日にかけて、山のトイレを考える会のメンバー6名が、トムラウシ南沼で山のトイレ問題の実態調査を行いました。ここは、トムラウシ山に近く、縦走路の基点となる野営指定地で多くの登山者がテント泊しますが、トイレがないために、紙・尿尿の散乱や、用を足すための踏み分け道の拡大が問題視されています。携帯トイレブースの臨時設置、アンケート調査、岩陰のウンコや紙、トイレ道の測量、水場の水質調査、そして沼ノ原、忠別岳とヒサゴ沼避難小屋トイレの調査も実施しました。7月29日(日)に南沼テント泊者は52人でそのうち携帯トイレを持参していたのは、なんと山のトイレを考える会のメンバーだけと言う重い課題にぶつかりました。アンケート調査の結果は、第3回フォーラムで報告予定です。

### 3. 全道一斉山のトイレデー開催

9月16日(日)に、会のメンバーと協力呼びかけに応じたみなさんが、全道各地の登山口や山に展開し、初めての山のトイレデーを開催しました。22カ所で実施し、約100人が参加しました。大雪山のトムラウシ、高原温泉、旭岳、黒岳、銀泉台、ニペソツ、ニセイカウシュッペ、西クマネシリ、日高のアポイ岳、札内川、チロロ岳・神威岳、芽室岳、道南の大千軒岳、函館山、道央の空沼岳、夕張岳、羊蹄山、手稲山、道北の利尻山、道東の摩周岳、羅臼岳、斜里岳です。それぞれ会ののぼりを立てて、トイレマップ等を配布し登山者への啓蒙活動、ゴミ・紙等の回収、登山者へのアンケート調査を行いました。あいにくの天候で、場所の変更を余儀なくされたり、のぼりを立てるだけで終わってしまったところもありましたが、一般登山者にはじめて大々的に呼びかけを行い、全道各地の現状を会員が見聞したことは、今後の活動の大きな糧になる



でしょう。参加したみなさん、お疲れさまでした。また、ご協力いただいた関係者の皆様に深く感謝いたします。

#### 4. トイレ技術勉強会開催

3月23日に環境エンジニアリング株式会社の後藤良忠氏、10月30日には北海道大学大学院農学研究科の寺沢実教授を講師に招き、最新の山のトイレ技術に関する勉強会を開催しました。後藤氏は改修された旭岳ロープウェイ姿見駅の杉チップを用いた循環式トイレの開発者です。姿見駅トイレの仕組みやメンテナンスに関することから、山岳地の傾斜と水を利用し杉チップのみで処理するアイデアについて説明していただきました。また、処理可能な携帯トイレの必要性やNP0によるトイレの維持管理の可能性などについての提案もいただきました。

寺沢教授は、富士山頂でも試験されたおが屑を用いたバイオトイレの開発に関わっていらっしゃいます。まず人間の尿尿の成分からはじまり、好気性条件下ではおが屑に分解できること、その際に多孔質であるおが屑に注目していることを分かりやすく説明していただきました。さらに富士山頂で発電器で稼働させ、35日間で7,000人が利用したが特に故障などはなかったことも報告されました。山岳地で、電源が得られない場合、手回し式もあるが、便槽内の温度（摂氏50～60度）を維持できるかどうかが課題だと話されていました。当日使用した資料もあります。興味のある方はお問い合わせ下さい。

#### 5. 北海道自然環境課との意見交換会

11月1日に、北海道自然環境課の職員のみなさんと、意見交換会を行いました。会からは今年の活動を報告し、携帯トイレ配布・回収の問題点の指摘や、大雪山の既設トイレ内へのゴミの投入禁止を呼びかける表示の設置などを要望しました。道からは公園施設係等の職員7名が参加され、今年度4支庁で行われた携帯トイレの配布・回収の実績報告と来年度も継続するという方針、ヒサゴ沼トイレの尿尿運搬、自然公園にトイレを作る場合に必要手続きについて説明がされました。道では「トイレの問題は、それ単独ではなく、国立公園としての利用のあり方はどうあるべきかといった枠の中で解決されるべきものである。」との考え方に

たっており、「今後もトイレの会や、地元の意向を聞きながら対策の検討を進め、コンセンサスを得ながら進めたい、そのための取り組みが必要になるので、協力をお願いしたい。」とのことで、今後も意見交換会および情報交換を行っていくことを確認しました。

#### 今後の行事・活動予定

##### 1. 第3回フォーラムのご案内

2002年2月2日14時より札幌の北海道クリスチャンセンター（北区北7西6）において、第3回のフォーラムを開催します。上述しましたような活動をとおして、より具体的に山域ごとの問題点や、トイレ問題解決の方向性を探りたいと考えています。1年間の活動の報告、全道各地からのトイレ問題の状況・意見の報告を受け、より具体的な対策の検討を議論する場になります。みなさまのご参加をお待ちしております。

##### 2. 行政との意見交換の継続

北海道自然環境課に加え、国立公園を管理する環境省、森林管理者である林野庁・道有林、山岳地をかかえる市町村などとも現状や今後の方策について、情報交換・意見交換を行う必要があると考え、準備を進めます。さらに今年発足した「山岳環境を考える道議会議員懇話会」との意見交換も行う予定です。これらの予定については、事務局までお問い合わせ下さい。

##### 3. 情報収集と提供

一般登山者への啓蒙活動のため、関係機関への情報提供のためにも、一層山のトイレに関する情報の収集と提供に努めていきたいと思えます。トイレマップとトイレ情報の更新、ホームページの内容の充実、一般登山者への啓蒙活動、トイレ技術に関する情報収集など、今後ともご協力よろしくお願ひします。



#### 連絡先

このニュースレターの内容ほか、お問い合わせは以下までお願いします。トイレ問題に関する各種資料もあります。また最新の活動状況や情報を得るには、インターネットのホームページを見ていただくか、メーリングリストに加わっていただくのがよろしいかと思ひます。ファックスも可能です。お気軽にお問い合わせ下さい。

060-8589 札幌市北区北9条西9丁目 北海道大学大学院農学研究科園芸緑地学講座内

山のトイレを考える会事務局（担当：愛甲）

電話&ファックス 011-706-2452 電子メール tetsu@res.agr.hokudai.ac.jp

ホームページ <http://village.infoweb.ne.jp/~yoshio49/mtclean.htm>